

## 動作確認済みサーバ (ミラクル・リナックス)

稼働確認が行われていない H/W に関しては弊社で確認させていただきま  
す。MIRACLE DiRECT(TEL:03-6205-9502) までお問合せください。

### 動作確認状況の記号について

- ◎: インストール CD のみで全てのデバイスが動作可能
- : ドライバディスクを利用することで全てのデバイスが動作可能
- △: インストールには弊社提供以外のドライバやデバイスの追加が必要です。
- ×: 弊社提供のメディアではインストールすることができません。

---

### NEC - 日本電気株式会社

MIRACLE LINUX V4.0 - Asianux Inside for x86-64	
機種名	動作確認状況
Express 5800/110Gc (Pentium 4 搭載)	◎
Express5800/110Ej (N8100-1073)	◎
Express5800/120Gb	◎
Express5800/120Rf-1(X/3.20G(2))SCSI モデル	◎
Express5800/R120a-2	◎※144

※144 MIRACLE LINUX v4.0 SP3 で検証

MIRACLE LINUX V4.0 - Asianux Inside	
機種名	動作確認状況

Express 5800/110Gc (Pentium 4 搭載)	◎
Express5800/110Ej (N8100-1073)	◎
Express5800/120Gb	◎
Express5800/120Rf-1(X/3.20G(2))SCSI モデル	◎
Express5800/320Fa-L	◎
Express5800/320Fa-LR	◎
Express5800/R120a-2	◎※144
Express5800/i110Ra-1h	◎

※144 MIRACLE LINUX v4.0 SP3 で検証

---

## デル株式会社

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside for x86-64	
機種名	動作確認状況
PowerEdge 1800	◎
PowerEdge 1850	◎
PowerEdge 1855	◎※47
PowerEdge 1900	◎※99
PowerEdge 1950	○※69
PowerEdge 800	◎
PowerEdge 2850	○※58
PowerEdge 2900	○※69※74
PowerEdge 2950	○※69

PowerEdge 2950 III	○※99※128
PowerEdge 6850	◎※82
PowerEdge 6950	◎※69※85
PowerEdge 830	◎
PowerEdge 840	◎※83※96
PowerEdge 850	◎
PowerEdge 860	◎※105
PowerEdge R200	△※99※137
PowerEdge R300	△※132※133
PowerEdge R710	◎※144
PowerEdge SC1420	◎
PowerEdge SC1430	○※92
PowerEdge SC1430	◎※105
PowerEdge SC430	◎
Poweredge SC1435	○※89

分類	オプション名	動作確認状況
etc	DRAC 5	◎※100
RAID	PERC 4/DC	◎
RAID	PERC 4/SC	◎
RAID	PER 5/i	○※88
RAID	PERC U320	◎
RAID	SAS 5/iR	○※88

※47 インストール時に「パッケージ xxxx が開けません。....」と表示された場合、そのまま「OK」をクリックしてインストールを続けて下さい。インストール完了、再起動後に上記該当パッケージがインストールされているかを確認し、インストールされていない場合は別途 CD-ROM から該当パッケージをコピーし、インスト

- 一ルする必要があります。
- ※58 「Non-Fatal Error DRAM Controller」と出力されますが、動作上問題はございません。下記ファイルより「bluesmoke\_e752x」と記載のある行をコメントアウトして下さい。/lib/modules/`uname -r`/modules.pcimap
- ※69 1. ディスクを自動認識しないため、ドライバディスクが必要です。  
· LSI Logic MegaRAID SAS コントローラー対応ドライバ  
2. NIC の自動検出ができないため、カーネルアップデートが必要です。  
· 2.6.9-34.21AX 以後のカーネルを利用して下さい。
- ※74 下記の手順でインストールを行ってください。1. インストール CDを入れ、起動させます。2. インストーラの初期画面で boot: と出ているところで「linux dd acpi=off」と入力します。
- ※82 RAID コントローラー無しの構成で確認
- ※83 オンボードシリアル ATA コントローラーを使用
- ※85 ブート時に次のオプションをカーネルに渡して頂く必要があります。  
iommu=soft  
また、AMD IOMMU につきましては 2007 年春リリース予定の MIRACLE LINUX V4.0 SP2 にて対応予定となっております。
- ※88 ディスクの認識にはドライバディスクが必要です。LSI Logic SAS コントローラー 対応ドライバ
- ※89 1)SAS 5/iR RAID コントローラーを使用した構成での検証となります。  
2)ブート時に次のオプションをカーネルに渡して頂く必要があります。  
iommu=soft  
また、AMD IOMMU につきましては MIRACLE LINUX V4.0 SP2 で対応を完了致しました。この対応により IO 性能が 1 割程度向上します。(当社性能検証による)  
3)ディスクの認識にはドライバディスクが必要です。LSI Logic SAS コントローラー 対応ドライバ
- ※92 1.PERC 5/i RAID コントローラーを使用した構成での確認となります。  
2.ディスクの認識にはドライバディスク LSI Logic MegaRAID SAS コントローラー 対応ドライバ が必要です。
- ※96 shutdown 時に自動的に電源が切れない場合がございます。  
その場合は/etc/grub.conf を開き kernel の行に acpi=off を追記して下さい。

例:

```

title Asianux 1.0 SP3 (2.4.21-47.22AXsmp)
root (hd0,5)
kernel /boot/vmlinuz-2.4.21-47.22AXsmp ro root=LABEL=/12 hda=ide-scsi
acpi=off
initrd /boot/initrd-2.4.21-47.22AXsmp.img

```

※99 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 での確認となります。

※100 ご使用方法は下記ページをご参照ください。

Dell Remote Access Controller (DRAC)の使用方法

※105 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 にて検証

※125 上位機種の DELL PowerEdge 2950 Ⅲにて検証

※128 1. PERC 6/i RAID コントローラーを使用した構成での確認となります。

2. OS インストール際、ディスクの認識にはドライバディスク (LSI Logic  
MegaRAID SAS コントローラー対応ドライバ) が必要です。

※132 SAS6iR 搭載モデルで検証

※133 MIRACLE LINUX 4.0SP2 で検証。

内蔵の CD/DVD-ROM を使用することができません。

ご使用になられる際は USB 接続の CD/DVD-ROM をご使用ください。

標準では内蔵 NIC をご使用になることができません。

ご使用になられる際は、こちら より、最新のドライバをダウンロードしていただく必要があります。

インストール手順はこちらを参照してください。

※137 SAS6iR 搭載モデルで検証

内蔵の CD/DVD-ROM をご使用になることができません。

インストールを行う際は、外付け CD-ROM などをご使用ください。

※144 MIRACLE LINUX v4.0 SP3 で検証

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside	
機種名	動作確認状況
PowerEdge 1800	◎
PowerEdge 1850	◎
PowerEdge 1855	◎

PowerEdge 1900	◎※99
PowerEdge 1950	○※69
PowerEdge 2800	◎
PowerEdge 2850	◎
PowerEdge 2900	○※69
PowerEdge 2950	○※69
PowerEdge 2950 III	○※99※128
PowerEdge 6850	◎※82
PowerEdge 6950	○※69
PowerEdge 830	◎
PowerEdge 840	◎※83※96
PowerEdge 850	◎
PowerEdge 860	◎※105
PowerEdge R200	△※99※137
PowerEdge R300	△※132※133
PowerEdge R710	◎※144
PowerEdge SC120	◎
PowerEdge SC1430	○※92
PowerEdge SC1430	◎※105
PowerEdge SC420	◎
PowerEdge SC430	◎
Poweredge SC1435	○※90

分類	オプション名	動作確認状況
etc	DRAC 5	◎※100
RAID	PERC 4/DC	◎

RAID	PERC 4/SC	◎
RAID	PERC 5/i	○※88
RAID	PERC U320	◎
RAID	SS 5/iR	○※88

※69 1. ディスクを自動認識しないため、ドライバディスクが必要です。

・ LSI Logic MegaRAID SAS コントローラー対応ドライバ

2. NIC の自動検出ができないため、カーネルアップデートが必要です。

・ 2.6.9-34.21AX 以後のカーネルを利用して下さい。

※82 RAID コントローラー無しの構成で確認

※83 オンボードシリアル ATA コントローラーを使用

※88 ディスクの認識にはドライバディスクが必要です。LSI Logic SAS コントローラー 対応ドライバ

※90 1)SAS 5/iR RAID コントローラーを使用した構成での検証となります。

2)ディスクの認識にはドライバディスクが必要です。LSI Logic SAS コントローラー 対応ドライバ

※92 1.PERC 5/i RAID コントローラーを使用した構成での確認となります。

2.ディスクの認識にはドライバディスク LSI Logic MegaRAID SAS コントローラー 対応ドライバ が必要です。

※96 shutdown 時に自動的に電源が切れない場合がございます。

その場合は/etc/grub.conf を開き kernel の行に acpi=off を追記して下さい。

例:

```
title Asianux 1.0 SP3 (2.4.21-47.22AXsmp)
root (hd0,5)
kernel /boot/vmlinuz-2.4.21-47.22AXsmp ro root=LABEL=/12 hda=ide-scsi
acpi=off
initrd /boot/initrd-2.4.21-47.22AXsmp.img
```

※99 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 での確認となります。

※100 ご使用方法は下記ページをご参照ください。

Dell Remote Access Controller (DRAC)の使用方法

※105 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 にて検証

※125 上位機種の DELL PowerEdge 2950 IIIにて検証

※128 1. PERC 6/i RAID コントローラーを使用した構成での確認となります。

2. OS インストール際、ディスクの認識にはドライバディスク(LSI Logic  
MegaRAID SAS コントローラー対応ドライバ)が必要です。

※132 SAS6iR 搭載モデルで検証

※133 MIRACLE LINUX 4.0SP2 で検証。

内蔵の CD/DVD-ROM を使用することができません。

ご使用になられる際は USB 接続の CD/DVD-ROM をご使用ください。

標準では内蔵 NIC をご使用になることができません。

ご使用になられる際は、こちらより、最新のドライバをダウンロードしていただく必要があります。

インストール手順はこちらを参照してください。

※137 SAS6iR 搭載モデルで検証

内蔵の CD/DVD-ROM をご使用になることができません。

インストールを行う際は、外付け CD-ROM などをご使用ください。

※144 MIRACLE LINUX v4.0 SP3 で検証

---

## 日本アイ・ビー・エム株式会社

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside for x86-64	
機種名	動作確認状況
BladeCenter HS20(8843)	◎※62
BladeCenter HS20(8843-L1J)	◎
BladeCenter HS21(8853)	◎※105
BladeCenter HS21(8853-L5J)	○※76※80
BladeCenter HS22(7870-L2J)	◎※144※145
BladeCenter LS20(8850-81J)	◎
System x3105(4347)	◎※105

System x3200(4363)	◎※105	
System x3250 M3(4252-52J)	◎※150※151	
System x3250(4365)	◎※105	
System x3455(7984)	◎※105	
System x3500(7977-42J)	◎	
System x3550 M2(7946-42J)	◎※144※145	
System x3550 M3(7944-G2J)	◎※150※152	
System x3550(7978)	◎※105	
System x3550(7978-7AJ)	◎※81	
System x3650 M2(7947-42J)	◎※144※145	
System x3650 M3(7945-G2J)	◎※150※152	
System x3650(7979)	◎※105	
System x3655(7985)	◎※105	
System x3755(8877)	◎※105	
System x3850 M2(7141)	△※134※135	
System x3950(8878)	◎※105	
eServer 325	◎	
xSeries 206	◎※25	
xSeries 226	◎※25	
xSeries 306	◎※25	
xSeries 336	◎※59	
xSeries 346	◎※78	
xSeries 366	◎	
分類	オプション名	動作確認状況
RAID	ServeRAID 6i+	◎

RAID	ServeRAID 8i	◎
RAID	ServeRAID 8k	◎※112
RAID	ServeRAID 8kl	◎※111
RAID	ServeRAID-7k	◎

※25 オンボード SerialATA コントローラーの RAID0,1 機能は利用できません。Linux のソフトウェア RAID 機能をご利用ください。

※59 下記の手順でインストールを行ってください。

1. インストール CD を入れ、起動させます。
2. インストーラの初期画面で `boot:` と出ているところで「`linux text acpi=off`」と入力します。ドライバディスクが必要な場合、「`linux text dd`」と入力してください。
3. 以降は常のインストールを実施してください。

※62 X は 800×600 の解像度で起動して下さい。

※76 1.インストール時には、ドライバディスク(LSI Logic SAS コントローラー対応)が必要です。

2.NIC の自動検出しない為、ML4.0 SP1 へのアップデートもしくは、2.6.9-34.21AX 以降のカーネルをご利用下さい。

※78 オンボードの ServeRaid-7e(a320raid の HostRaid 機能)はご利用になれませんので、ServeRaid-7k をご利用ください。

※80 インストール後に、CD・FD ドライブを認識しなくなった場合は、一度他のブレードサーバにドライブを割り当ててから、再度元に戻すと認識します。

※81 NIC の認識には、SP1 もしくは 2.6.9-34.21AX 以降のカーネルへアップデートが必要です。

※105 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 にて検証

※111 System x3455,x3550,x3755 にて検証

※112 System x3650 にて検証

※114 System x3950(8878)にて検証

※134 内蔵 NIC をご使用になることができません。

ご使用になられる際は、搭載されている Broadcom NetXtreme II に対応した最新のドライバをダウンロードしていただく必要があります。

手順はこちらをご参照ください。

※135 OS インストール際、ディスクの認識にはドライバディスク(LSI Logic MegaRAID SAS コントローラー対応ドライバ)が必要です。  
手順はこちらをご参照ください。

※144 MIRACLE LINUX v4.0 SP3 で検証

※145 起動時に

```
pciehp: acpi_pciehprm:SB_.PCI0._OSC fails=0x10
pciehp: Fails to run _OSC to gain control of native hot-plug
が表示されますが動作上問題ございません。
/etc/modprobe.confに以下のエントリを追加することでメッセージを抑止することができます。
install pciehp /bin/true
```

※150 MIRACLE LINUX v4.0 SP4 で検証

※151 インストール時に、インストーラ起動直前に画面に何も表示されなくなる場合があります。

上記現象が発生する場合は、インストーラの初期画面で boot: と出ているところで

「linux nofb」と入力し、インストールを行ってください。

例)

```
boot: linux nofb
```

※152 インストール時に、インストーラ起動直前に画面に何も表示されなくなる場合があります。上記現象が発生する場合は、インストーラの初期画面で boot: と出ているところで「linux vga=791」と入力し、インストールを行ってください。

例) boot: linux vga=791

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside	
機種名	動作確認状況
BladeCenter HS20(8678)	◎※62
BladeCenter HS20(8843)	◎
BladeCenter HS20(8843-L1J)	◎
BladeCenter HS21(8853)	◎※105
BladeCenter HS21(8853-L5J)	○※76※80
BladeCenter HS22(7870-L2J)	◎※144※145

BladeCenter HS40	◎※62
BladeCenter LS20(8850-81J)	◎
HS20(8678)	◎
System x3105(4347)	◎※105
System x3200(4363)	◎※105
System x3250 M3(4252-52J)	◎※150※151
System x3250(4365)	◎※105
System x3455(7984)	◎105
System x3500(7977-42J)	◎
System x3550 M2(7946-42J)	◎※144※145
System x3550 M3(7944-G2J)	◎※150※152
System x3550(7978)	◎※105
System x3550(7978-7AJ)	◎※81
System x3650 M2(7947-42J)	◎※144※145
System x3650 M3(7945-G2J)	◎※150※152
System x3650(7979)	◎※105
System x3755(8877)	◎※105
System x3850 M2(7141)	△※134※135
System x3950(8878)	◎※105
eServer 325	◎
xSeries 206	◎※25
xSeries 226	◎※25
xSeries 306	◎※25
xSeries 335	◎
xSeries 336	◎※34

xSeries 346	◎※78	
xSeries 366	◎	
xSeries 445	◎	
分類	オプション名	動作確認状況
RAID	ServeRAID 6i+	◎
RAID	ServeRAID 8i	◎
RAID	ServeRAID 8k	◎※112
RAID	ServeRAID 8k-I	◎※111
RAID	ServeRAID-7k	◎

※25 オンボード SerialATA コントローラーの RAID0,1 機能は利用できません。Linux のソフトウェア RAID 機能をご利用ください。

※34 テキストモードでインストールを行ってください。

1. インストール CD を入れ、起動させます。
2. インストーラの初期画面で `boot:` と出ているところで `linux text` と入力します。ドライバディスクが必要な場合、`linux text dd` と入力してください。
3. 以降は通常のインストールを実施してください。

X Window System を使用する場合は、インストール時には設定をせず、インストール後に以下の設定を行ってください。

1. インストール後に `Xconfigurator` コマンドを実行して設定を行ってください。但し、`Xconfigurator` の”Xを起動しています”画面では”スキップ”を選択して、`Xconfigurator` を終了してください。
2. `/etc/X11/XF86Config-4` ファイルにて、Section “Device” の Driver “radeon”となっている値を “vesa”に変えます。
3. `startx` 等にて X Window を起動します。

※62 X は 800×600 の解像度で起動して下さい。

※76 1.インストール時には、ドライバディスク(LSI Logic SAS コントローラー対応)が必要です。

2.NIC の自動検出しない為、ML4.0 SP1 へのアップデートもしくは、  
2.6.9-34.21AX 以降のカーネルをご利用下さい。

※78 オンボードの ServeRaid-7e(a320raid の HostRaid 機能)はご利用になれません  
ので、ServeRaid-7k をご利用ください。

※80 インストール後に、CD・FD ドライブを認識しなくなった場合は、一度他のブレー  
ドサーバ にドライブを割り当ててから、再度元に戻すと認識します。

※81 NIC の認識には、SP1 もしくは 2.6.9-34.21AX 以降のカーネルへアップデート  
が必要です。

※105 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 にて検証

※107 インストール後、GRUB の再インストールが必要になる場合がございます。

※111 System x3455,x3550,x3755 にて検証

※112 System x3650 にて検証

※114 System x3950(8878)にて検証

※134 内蔵 NIC をご使用になることができません。

ご使用になられる際は、搭載されている Broadcom NetXtreme II に対応した最  
新のドライバをダウンロードしていただく必要があります。

手順はこちらをご参照ください。

※135 OS インストール際、ディスクの認識にはドライバディスク(LSI Logic MegaRAID  
SAS コントローラー対応ドライバ)が必要です。

手順はこちらをご参照ください。

※144 MIRACLE LINUX v4.0 SP3 で検証

※145 起動時に

```
pciehp: acpi_pciehprm:_SB_.PCI0._OSC fails=0x10
pciehp: Fails to run _OSC to gain control of native hot-plug
が出力されますが動作上問題ございません。
/etc/modprobe.confに以下のエントリを追加することでメッセージを抑止するこ
とができます。
install pciehp /bin/true
```

※150 MIRACLE LINUX v4.0 SP4 で検証

※151 インストール時に、インストーラ起動直前に画面に何も表示されなくなる場合が  
あります。

上記現象が発生する場合は、インストーラの初期画面で boot: と出ているとこ  
ろで

「linux nofb」と入力し、インストールを行ってください。

例)

boot: linux nofb

※152 インストール時に、インストーラ起動直前に画面に何も表示されなくなる場合があります。上記現象が発生する場合は、インストーラの初期画面で boot: と出ているところで「linux vga=791」と入力し、インストールを行ってください。

例) boot: linux vga=791

---

HP - 日本ヒューレット・パッカード株式会社

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside for x86-64	
機種名	動作確認状況
ProLiant BL460c G6	◎※150
ProLiant DL120 G6	△※150※155
ProLiant DL140 G2	◎
ProLiant DL140 G3	◎※105
ProLiant DL145 G1/ATA	◎
ProLiant DL145 G1/SCSI	◎
ProLiant DL145 G2	◎
ProLiant DL160 G5	○※99※136
ProLiant DL180	◎※99※126
ProLiant DL320 G4	◎※76
ProLiant DL320 G5	◎※105
ProLiant DL320 G5p	△※129※130
ProLiant DL320 G6	◎※144
ProLiant DL320s	◎※105

ProLiant DL360 G4/SA6i	◎
ProLiant DL360 G4/SATA	◎
ProLiant DL360 G4p/SA6i	◎
ProLiant DL360 G4p/SATA	◎
ProLiant DL360 G5	○※77
ProLiant DL360 G6	◎※144
ProLiant DL360 G7	◎※150
ProLiant DL365	◎※99
ProLiant DL380 G4/SA6i	◎
ProLiant DL380 G4/SA	◎
ProLiant DL380 G5	○※77
ProLiant DL380 G6	◎※144
ProLiant DL385 /SA6i	◎
ProLiant DL385 /SAS	◎
ProLiant DL385 G2	○※105※101
ProLiant DL580 G5	◎※99※138
ProLiant DL585 (シングルコア)	◎
ProLiant ML150 G2/SCSI	◎
ProLiant ML150 G3/SAS&SATA	◎※105
ProLiant ML310 G2/SATA	◎
ProLiant ML310 G2/SCSI	◎
ProLiant ML310 G4	◎
ProLiant ML310 G5	△※99※127
ProLiant ML310 G5p	◎※144
ProLiant ML330 G3/SCSI	◎

ProLiant ML350 G4	◎
ProLiant ML350 G4p/SCSI	◎
ProLiant ML350 G4p/SERIAL	◎
ProLiant ML350 G5	○※77
ProLiant ML370 G4/SAS	◎
ProLiant ML370 G4/SCSI	◎
ProLiant ML370 G5	○※77

※76 1.インストール時には、ドライバディスク(LSI Logic SAS コントローラー対応)が必要です。

2.NIC の自動検出しない為、ML4.0 SP1へのアップデートもしくは、2.6.9-34.21AX 以降のカーネルをご利用下さい。

※77 1.SmartArrayP400/E200i の利用にはドライバディスク( HP SmartArray 対応 )が必要です。

※SP2をご使用の場合は、ドライバディスクは必要ございません。2.オンボードのネットワークコントローラーを利用するには、SP1 以降のカーネルが必要です。

※99 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 での確認となります。

※101 オンボード搭載の NIC が誤認識されますので、インストール後に設定を変更してください。bcm5700-->bnx2

※105 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 にて検証

※126 DHCP を利用している環境下で、ブート時に NIC が自動でリンクアップしない場合があります。

その際は

/etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0

の最後に

check\_link\_down () { return 1; }

下記を追記してください。

サーバに接続したキーボードで、1 秒程度キーが押しっぱなし状態になる現象が確認されました。

※127 MIRACLE LINUX4.0SP2 では本機器に搭載されているストレージコントローラー

に対応していないため、HW の設定を変更しなければインストールできません。

電源投入後、ブート中に[F9]キーを押し、BIOS 設定画面を起動します。

[AdvancedOption]→[Embedded SATA RAID]→[Enable]

と設定します。

その後 OS をインストールしてください。

ただし、内蔵 CD-ROM、RAID 構成は不可となります。

※129 458271-291 モデルで検証

※130 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 での確認。

BIOS で[AdvancedOption]→[Embedded SATA RAID]→[Enable] に設定してください。

また、内蔵の CD/DVD-ROM をご使用になることができません。

インストールを行う際は、外付け CD-ROM などをご使用ください。

※136 MIRACLE LINUX v4.0SP2 ではドライバが対応していないため内蔵の NIC を使用することができません。

ご使用になられる際はこちらより最新のドライバ(tg3-3.81e-1.src.rpm.tar.gz)をダウンロードしインストールしてください。

インストール手順はこちらを参照してください。

※138 451993-291 モデルで検証

※144 MIRACLE LINUX v4.0 SP3 で検証

※150 MIRACLE LINUX v4.0 SP4 で検証

※155 MIRACLE LINUX v4.0SP4 ではドライバが対応していないため内蔵の “Smart Array B110i SATA RAID コントローラー”を使用することができません。その他 の RAID コントローラーをご使用ください。ディスクを RAID 構成で使わない場合 は問題なく動作しま す。

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside	
機種名	動作確認状況
HP ProLiant DL160G5	○※99※136
ProLiant BL460c G6	◎※150
ProLiant DL120 G6	△※150※155
ProLiant DL140 G2	◎

ProLiant DL140 G3	◎※105
ProLiant DL145 G1/ATA	◎
ProLiant DL145 G1/SCSI	◎
ProLiant DL145 G2	◎
ProLiant DL180	◎※99※126
ProLiant DL320 G3	◎
ProLiant DL320 G4	◎※76
ProLiant DL320 G5	◎※105
ProLiant DL320 G5p	△※129※130
ProLiant DL320 G6	◎※144
ProLiant DL320s	◎※105
ProLiant DL360 G4/SA6i	◎
ProLiant DL360 G4/SATA	◎
ProLiant DL360 G4p/SA6i	◎
ProLiant DL360 G4p/SATA	◎
ProLiant DL360 G5	○※77
ProLiant DL360 G6	◎※144
ProLiant DL360 G7	◎※150
ProLiant DL365	◎※99
ProLiant DL380 G4/SA6i	◎
ProLiant DL380 G4/SA6i	◎
ProLiant DL380 G4/SAS	◎
ProLiant DL380 G5	○※77
ProLiant DL380 G6	◎※144
ProLiant DL385 /SA6i	◎

ProLiant DL385 /SAS	◎
ProLiant DL385 G2	◎※101※105
ProLiant DL580 G5	◎※138※99
ProLiant DL585 (シングルコア)	◎
ProLiant ML110 G3/SATA	◎
ProLiant ML110 G3/SCSI	◎
ProLiant ML150 G2/SCSI	◎
ProLiant ML150 G3/SAS&SATA	◎※105
ProLiant ML310 G2/SATA	◎
ProLiant ML310 G2/SCSI	◎
ProLiant ML310 G3/SAS&SATA	◎
ProLiant ML310 G4	◎
ProLiant ML310 G5	△※99※127
ProLiant ML310 G5p	◎※144
ProLiant ML330 G3/SCSI	◎
ProLiant ML350 G4	◎
ProLiant ML350 G4p/SCSI	◎
ProLiant ML350 G4p/SERIAL	◎
ProLiant ML350 G5	○※77
ProLiant ML370 G4/SAS	◎
ProLiant ML370 G4/SCSI	◎
ProLiant ML370 G5	○※77

※76 1.インストール時には、ドライバディスク(LSI Logic SAS コントローラー対応)が必要です。

2.NIC の自動検出しない為、ML4.0 SP1 へのアップデートもしくは、

2.6.9-34.21AX 以降のカーネルをご利用下さい。

※77 1.SmartArrayP400/E200i の利用にはドライバディスク( HP SmartArray 対応 )が必要です。

※SP2をご使用の場合は、ドライバディスクは必要ございません。2.オンボードのネットワークコントローラーを利用するには、SP1 以降のカーネルが必要です。

※99 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 での確認となります。

※101 オンボード搭載の NIC が誤認識されますので、インストール後に設定を変更してください。bcm5700-->bnx2

※105 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 にて検証

※126 DHCP を利用している環境下で、ブート時に NIC が自動でリンクアップしない場合があります。

その際は

/etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0

の最後に

check\_link\_down () { return 1; }

下記を追記してください。

サーバに接続したキーボードで、1 秒程度キーが押しつぶなし状態になる現象が確認されました。

※127 MIRACLE LINUX4.0SP2 では本機器に搭載されているストレージコントローラーに対応していないため、HW の設定を変更しなければインストールできません。電源投入後、ブート中に[F9]キーを押し、BIOS 設定画面を起動します。

[AdvancedOption]→[Embedded SATA RAID]→[Enable]  
と設定します。

その後 OS をインストールしてください。

ただし、内蔵 CD-ROM、RAID 構成は不可となります。

※129 458271-291 モデルで検証

※130 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 での確認。

BIOS で[AdvancedOption]→[Embedded SATA RAID]→[Enable] に設定してください。

また、内蔵の CD/DVD-ROM をご使用になることができません。

インストールを行う際は、外付け CD-ROM などをご使用ください。

※136 MIRACLE LINUX v4.0SP2 ではドライバが対応していないため内蔵の NIC を使

用することができません。

ご使用になられる際はこちらより最新のドライバ(tg3-3.81e-1.src.rpm.tar.gz)をダウンロードしインストールしてください。

インストール手順はこちらを参照してください。

※138 451993-291 モデルで検証

※144 MIRACLE LINUX v4.0 SP3 で検証

※150 MIRACLE LINUX v4.0 SP4 で検証

※155 MIRACLE LINUX v4.0SP4 ではドライバが対応していないため内蔵の “Smart Array B110i SATA RAID コントローラー”を使用することができません。その他 の RAID コントローラをご使用ください。ディスクを RAID 構成で使わない場合 は問題なく動作しま す。

---

#### 株式会社日立製作所

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside for x86-64	
機種名	動作確認状況
HA8000/130W AC, BC	◎※54
HA8000/70W PC	◎※54

※54 LCD パネル使用時に Xconfigurator による X Window 再設定を行う場合は、  
「Monitor Setup」で LCD Panel 等を選択する必要があります。

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside	
機種名	動作確認状況
BladeSymphony サーバモジュール(インテル Xeon プロセッサ搭載モ デル)	◎※56
HA8000 110 GD	◎

HA8000 130W AD,BD	◎
HA8000/110W GC	◎
HA8000/130W AC, BC	◎
HA8000/70W PC	◎

※56 内蔵 HDD(非 RAID)構成で確認しています。

### 富士通株式会社

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside for x86-64	
機種名	動作確認状況
PRIMERGY(プライマジー) ECONEL 100	◎※99
PRIMERGY(プライマジー) TX120W	◎※99
PRIMERGY(プライマジー) TX150S6	△※99※124
PRIMERGY(プライマジー) BX620 S3	◎※105
PRIMERGY(プライマジー) RX100 S3	◎
PRIMERGY(プライマジー) RX200 S2	◎
PRIMERGY(プライマジー) RX200 S3	○※76
PRIMERGY(プライマジー) RX300 S2	◎
PRIMERGY(プライマジー) RX300 S3	○※79
PRIMERGY(プライマジー) RX600 S3	◎※105
PRIMERGY(プライマジー) TX150 S4	◎
PRIMERGY(プライマジー) TX150 S5	◎※105
PRIMERGY(プライマジー) TX200 S2	◎

PRIMERGY(プライマジー) TX200 S3	◎※105※109
PRIMERGY(プライマジー) TX200 S5	◎
PRIMERGY(プライマジー) TX300 S5	◎
PRIMERGY(プライマジー) BX920 S1	◎※144
PRIMERGY(プライマジー) RX100 S5	◎※99※142
PRIMERGY(プライマジー) RX200 S4	○※99※139
PRIMERGY(プライマジー) RX200 S5	◎※144
PRIMERGY(プライマジー) RX200 S6	◎※150
PRIMERGY(プライマジー) RX300 S4	○※99※140
PRIMERGY(プライマジー) RX300 S5	◎※144
PRIMERGY(プライマジー) RX300 S6	◎※150
PRIMERGY(プライマジー) RX600 S4	○※99※140
PRIMERGY(プライマジー) TX300 S4	○※99※140

分類	オプション名	動作確認状況
NIC	LAN カード(1000BASE-T)(LowProfile) 型名 PG-1892L	◎※45
RAID	LSI Logic 53C1020	◎
RAID	SAS アレイコントローラーカード 型名 PG-140FL	◎※105
RAID	SCSI アレイコントローラーカード 型名 PGB142E3B	◎※45
etc	ファイバチャネルカード 型名 PG-FC106	◎※45

※45 PRIMERGY 純正オプションの動作確認となります。

※76 1.インストール時には、ドライバディスク(LSI Logic SAS コントローラー対応)が必要です。

2.NIC の自動検出しない為、ML4.0 SP1 へのアップデートもしくは、  
2.6.9-34.21AX 以降のカーネルをご利用下さい。

- ※79 1.オンボード RAID を使用したインストールには、ドライバディスク( LSI Logic MegaRAID SAS コントローラー対応ドライバ )が必要です。  
 2.NIC の認識には、SP1 もしくは 2.6.9-34.21AX 以降のカーネルへアップデートが必要です。
- ※99 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 での確認となります。
- ※105 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 にて検証
- ※109 SAS アレイコントローラカード(PG-140FL)を使用した構成での確認となります。
- ※124 内蔵の CD/DVD-ROM をご使用になることができません。  
 インストールを行う際は、外付け CD-ROM などをご使用ください。
- ※139 SAS モデルで検証
- ※140 インストール CD に含まれる標準カーネルでは HDD を認識することができません。  
 インストールする際はドライバディスクを使用してください。
- ※142 SAS モデル、CD-ROM なしモデルで検証  
 弊社では未検証ですが、内蔵 CD-ROM は動作しない可能性があります。
- ※144 MIRACLE LINUX v4.0 SP3 で検証
- ※150 MIRACLE LINUX v4.0 SP4 で検証

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside	
機種名	動作確認状況
PRIMERGY(プライマジー) ECONEL 100	◎※99
PRIMERGY(プライマジー) TX120W	◎※99
PRIMERGY(プライマジー) TX150 S6	△※99※124
PRIMERGY(プライマジー) BX620 S3	◎※105
PRIMERGY(プライマジー) RX100 S3	◎
PRIMERGY(プライマジー) RX200 S2	◎
PRIMERGY(プライマジー) RX200 S3	○※76
PRIMERGY(プライマジー) RX300 S2	◎
PRIMERGY(プライマジー) RX300 S3	○※79

PRIMERGY(プライマジー) RX600 S3	◎※105
PRIMERGY(プライマジー) TX150 S2	◎
PRIMERGY(プライマジー) TX150 S4	◎
PRIMERGY(プライマジー) TX150 S5	◎※105
PRIMERGY(プライマジー) TX200 S2	◎
PRIMERGY(プライマジー) TX200 S3	◎※105※109
PRIMERGY(プライマジー) TX200 S5	◎
PRIMERGY(プライマジー) TX300 S5	◎
PRIMERGY(プライマジー) BX920 S1	◎※144
PRIMERGY(プライマジー) RX100 S5	◎※99※142
PRIMERGY(プライマジー) RX200 S4	○※99※139
PRIMERGY(プライマジー) RX200 S5	◎※144
PRIMERGY(プライマジー) RX200 S6	◎※150
PRIMERGY(プライマジー) RX300 S4	○※99※140
PRIMERGY(プライマジー) RX300 S5	◎※144
PRIMERGY(プライマジー) RX300 S6	◎※150
PRIMERGY(プライマジー) RX600 S4	○※99※140
PRIMERGY(プライマジー) TX300 S4	○※99※140

分類	オプション名	動作確認状況
NIC	LAN カード(1000BASE-T)(LowProfile) 型名 PG-1892L	◎※45
RAID	LSI Logic 53C1020	◎
RAID	SAS アレイコントローラーカード 型名 PG-140FL	◎※105
RAID	SCSI アレイコントローラーカード 型名 PG-140D/PGB140D	◎※45

RAID	SCSI アレイコントローラーカード 型名 PGB142E3B	◎※45
SCSI	SCSI カード 型名 PG-129B/PGB129B	◎※45
etc	ファイバチャネルカード 型名 PG-FC106	◎※45

※45 PRIMEGY 純正オプションの動作確認となります。

※76 1.インストール時には、ドライバディスク(LSI Logic SAS コントローラー対応)が必要です。

2.NIC の自動検出しない為、ML4.0 SP1 へのアップデートもしくは、  
2.6.9-34.21AX 以降のカーネルをご利用下さい。

※79 1.オンボード RAID を使用したインストールには、ドライバディスク( LSI Logic  
MegaRAID SAS コントローラー対応ドライバ )が必要です。

2.NIC の認識には、SP1 もしくは 2.6.9-34.21AX 以降のカーネルへアップデートが必要です。

※99 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 での確認となります。

※105 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 にて検証

※109 SAS アレイコントローラーカード(PG-140FL)を使用した構成での確認となります。

※124 内蔵の CD/DVD-ROM をご使用になることができません。

インストールを行う際は、外付け CD-ROM などをご使用ください。

※139 SAS モデルで検証

※140 インストール CD に含まれる標準カーネルでは HDD を認識することができません。

インストールする際はドライバディスクを使用してください。

※142 SAS モデル、CD-ROM なしモデルで検証

弊社では未検証ですが、内蔵 CD-ROM は動作しない可能性があります。

※144 MIRACLE LINUX v4.0 SP3 で検証

※150 MIRACLE LINUX v4.0 SP4 で検証

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside for x86-64	
機種名	動作確認状況
Sun Fire X2100 server	◎※71
Sun Fire X4100 Server	◎※67※68
Sun Fire X4150	◎※99
Sun Fire X4170	◎※144
Sun Fire X4200 Server	◎※67※68
Sun Fire X4250 Server	◎※99
Sun Fire v40z	◎

※67 up カーネルでは、ネットワークが切れる問題があるため、ご利用時は smp カーネルをご利用ください。

※68 インストール時には、ドライバディスクが必要です。

※71 インストーラ起動時、およびインストール後のシステム起動時に以下の Kernel Panic が発生します。

Kernel panic – not syncing : PCI-DMA : high address but no IOMMU  
それぞれ以下の方法で回避してください。

#### 【インストーラ起動時の Kernel Panic 回避方法】

1. インストールの初期画面で F4 を押し、以下のように linux コマンドに “iommu=soft”を指定して起動します。

boot: linux iommu=soft

#### 【インストール後、システム起動時の Kernel Panic 回避方法】

1. 電源投入直後の青い Asianux ロゴの画面で、任意のキーを押して Grub のメニュー画面を表示します。
2. 矢印上下キーにより、起動するカーネルを選択します。
3. “e”キーを押し、boot コマンドの編集画面を表示します。
4. 矢印上下キーにより、“kernel”で始まる行を選択します。
5. “e”キーを押し、“kernel”行の編集画面を表示します。

6. 以下のように、パラメーター“iommu=soft”を加えます。

```
kernel /vmlinuz-2.6.9-11.19AXsmp ro root=LABEL=/ iommu=soft
```

7. Enter キーを押して、変更を確定します。
8. “b”キーを押して、システム起動を開始します。

※99 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 での確認となります。

※144 MIRACLE LINUX v4.0 SP3 で検証

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside	
機種名	動作確認状況
Sun Fire X2100 server	◎
Sun Fire X4100 Server	◎※67※68
Sun Fire X4150	◎※99
Sun Fire X4170	◎※144
Sun Fire X4200 Server	◎※67※68
Sun Fire X4250 Server	◎※99
Sun Fire v40z	◎

※67 up カーネルでは、ネットワークが切れる問題があるため、ご利用時は smp カーネルをご利用ください。

※68 インストール時には、ドライバディスクが必要です。

※99 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 での確認となります。

※144 MIRACLE LINUX v4.0 SP3 で検証

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside for x86-64	
機種名	動作確認状況
MAGNIA 1005R	◎
MAGNIA 1105R	◎
MAGNIA 2500	◎
MAGNIA 2505R	◎
MAGNIA 2515R	◎
MAGNIA 2605R	◎
MAGNIA 3400	◎
MAGNIA 3405R	◎
MAGNIA 3410	◎
MAGNIA 3415R	◎
MAGNIA 3500	◎
MAGNIA 3505R	◎
MAGNIA 3510	◎
MAGNIA 3515R	◎
MAGNIA 3600	◎
MAGNIA 3605R	◎
MAGNIA 7305R	◎
MAGNIA 7505R	◎
MAGNIA LiTE41S	◎
MAGNIA LiTE41SE	◎

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside	
機種名	動作確認状況

MAGNIA 1005R	◎
MAGNIA 1105R	◎
MAGNIA 2200R	◎
MAGNIA 2500	◎
MAGNIA 2505R	◎
MAGNIA 2515R	◎
MAGNIA 2605R	◎
MAGNIA 3400	◎
MAGNIA 3405R	◎
MAGNIA 3410	◎
MAGNIA 3415R	◎
MAGNIA 3500	◎
MAGNIA 3505R	◎
MAGNIA 3510	◎
MAGNIA 3515R	◎
MAGNIA 3600	◎
MAGNIA 3605R	◎
MAGNIA 7210	◎
MAGNIA 7235R	◎
MAGNIA 7305R	◎
MAGNIA 7505R	◎
MAGNIA LiTE32S	◎
MAGNIA LiTE41S	◎
MAGNIA LiTE41SE	◎
MAGNIA Z320S	◎

MAGNIA Z330S

◎

---

---

---

### 株式会社サードウェーブ

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside for x86-64

機種名		動作確認状況
Exprime Server R-70-6014HT		◎※25
分類	オプション名	動作確認状況
RAID	Adaptec 2025SA(SATA) ZCR Card	◎

※25 オンボード SerialATA コントローラーの RAID0,1 機能は利用できません。Linux のソフトウェア RAID 機能をご利用ください。

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside

機種名		動作確認状況
Exprime Server R-70-6014HT		◎※25
分類	オプション名	動作確認状況
RAID	Adaptec 2025SA(SATA) ZCR Card	◎

※25 オンボード SerialATA コントローラーの RAID0,1 機能は利用できません。Linux のソフトウェア RAID 機能をご利用ください。

---

## 日本ユニシス株式会社

### MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside for x86-64

動作確認済みサーバはありません。

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside	
機種名	動作確認状況
ES7000/520	◎※52※53
ES7000/540	◎※52※53

※52 ご利用の ES7000 サーバが LSI Logic SCSI Host Bus Adapter (ドライバ: mptbase/mptscsih) を搭載している場合、mptfusin ドライバのロードに失敗する可能性があります。

このデバイスをサーバマシンから取り外してからインストールを行ってください。

※53 もし、以下のメッセージが /var/log/messages に記録されている場合、GRUB のブートメニューで「pci=noapi」もしくは「acpi=off」のオプションを指定してサーバを起動してください。

---

```
ACPI: Unable to set IRQ for PCI Interrupt Link [LN1] (likely buggy ACPI BIOS).
Try pci=noacpi or acpi=off
```

---

## 日本ストラタステクノロジー株式会社

### MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside for x86-64

動作確認済みサーバはありません。

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside	
機種名	動作確認状況
ftServer M30	◎

---

ヴィエムウェア株式会社

**MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside for x86-64**

動作確認済みサーバはありません。

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside	
機種名	動作確認状況
VMware ESX Server 2.5.3	○※73
Vmware ESX Server 3.0	○※73

※73 MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside には BusLogic ドライバが含まれていないため、仮想マシンの SCSI コントローラー Virtual Device を[vmxlsilogic]に変更し LsiLogic としてインストールする必要があります。

---

株式会社 イースリム・ジャパン

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside for x86-64	
機種名	動作確認状況
SV7-2187	◎※99

※99 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 での確認となります。

MIRACLE LINUX V4.0 – Asianux Inside	
機種名	動作確認状況
SV7-2187	◎※99

※99 MIRACLE LINUX V4.0 SP2 での確認となります。

## 注意事項

この一覧表は、各メーカー様または弊社で動作確認を行ったサーバ機の一覧です。以下に注意していただき、ハードウェア選定の参考にしてください。

一覧に無いハードウェアも現在、稼働確認中の場合がございますので、お問い合わせください。

- 表に示すサーバでの MIRACLE LINUX の動作を保証するものではありません。
- 表に示すサーバ以外での MIRACLE LINUX の動作を否定するものではありません。
- MIRACLE LINUX V3.0/V4.0/V5 及び Asianux Server 3 は Red Hat Enterprise Linux AS/ES v.3/v.4/v5.x と互換性があるため、表に示すサーバ以外の機種であっても Red Hat Enterprise Linux AS/ES v.3/v.4/v5.x が動作する機種は MIRACLE LINUX V3.0/V4.0/V5 も動作します。ただし、すべてのマシンで動作を保証するものではないことを了承ください。
- 表に示すサーバ以外での動作可否については、製造元のハードウェアメーカー様にお問い合わせください。
- 弊社提供以外のドライバに関するお問い合わせは、サポートサービスの範囲外となり

ますことをご了承下さい。

当社サイトの稼働確認に載せていないハードウェア機種に関しては、御要望が多い機種についてはハードウェア提供企業と検討の上で対応をしてまいります。御急ぎの場合には、該当ハードウェアを当社宛に送付頂き、有償にて稼働確認を行うサービスも提供致しております。(稼働確認を行うサービスは 21 万円(税込み)の実費で行います。)

稼働確認が行われていないハードウェア機種上で MIRACLE LINUX を利用する場合でも、該当機種固有と思われる問題を除いて、無償インストールサポート、プロダクト・サポートなど各種サポートサービスを提供致します。